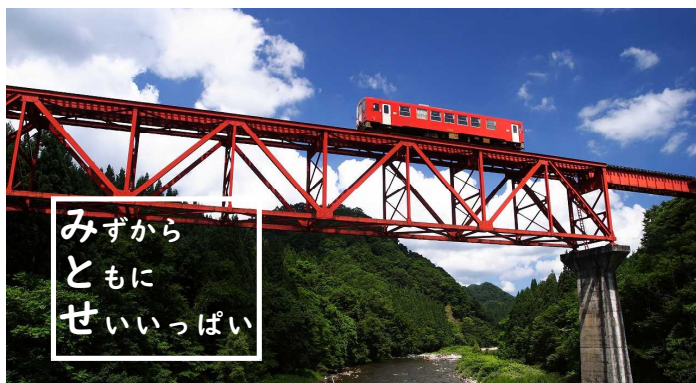




みずから
ともに
せいっぱい

義務教育学校阿仁学園
令和7年度学校報



さらり

令和7年10月10日（金）No12
文責：校長

☆☆「Can Do!!!」の先にある「感動」の学園祭

5日、本校メモリアルホール（笑）にて、6万8千人（非公式発表）のお客様をお迎えして学園祭が行われました。教頭先生の正式発表によると、来場者数は280人。子どもや教職員も含めると360人を超えるにぎやかな1日となりました。子どもたちは、9学年の繋がりを大切にし、相手の心に届く発表をしようと毎日努力してきました。その甲斐あって、会場全体に阿仁愛が溢れる素敵な学園祭になりました。あたたかい拍手とご声援、本当にありがとうございました。



声高らかに校歌合唱



1年生による歓迎の言葉



格式ある伝統芸能



ダーツの旅は秋田県へ



阿仁にもたくさんのパビリオンが



タイムマシーンで未来へ



第1部フィナーレ「ありがとう」



蓮央くんによる代表あいさつ



大興奮の吹奏楽部ライブ



みとせ食堂にて



芸術×筋肉＝活性化



9年生、迫真の演技



渾身の「モルダウ」



興奮最高潮のフィナーレ



来年もまた来てね

先生方もCanDo!!!(やればできる)」



けん玉名人



北酒場トリオ



演歌の女王



白スーツ先生



フルート奏者



熱男



満員御礼

週予定

- 10月13日(月) スポーツの日
- 14日(火) なべっこ会 部活動休止日
- 15日(水) ぴかぴか検査(1～6年) 部活動あり
- 16日(木) 9年実力テスト 吹奏楽クラブ
- 17日(金) 入試保護者説明会
- 18日(土) 秋田活性化中学生選手権県北大

★なべっこ会については別紙「令和7年度なべっこ会について(8日に配付済)」をご覧ください。



熊出没への対応について

今年は各地に熊が出没しております。本校周辺でも複数回目撃されており、警戒が必要な状態です。現在は「17日まで保護者の送り迎えで」とお願いしておりますが、更なる延長も視野に入れて検討中です。詳しくは、後日、メール等で連絡いたします。



学園祭には、たくさんの方々に御来場いただいた。実はその中に、宮崎先生のご両親もいらっしゃった。その話を宮崎先生としながら、貴重な情報を入手した。吹奏楽部の演奏で、副校長先生、宮崎先生、藤嶋先生が北酒場を歌い、武石先生が津軽海峡冬景色を歌い終わった後、周辺から「あとは校長先生だな。」という声が聞こえてきた…とのこと。あれっ、完全にこちらの手の内が読まれているではないか。笑



その程度のことはお見通しだという方に、見ていただきたい写真がある。左は後期課程合唱「モルダウ」の様子。何かお気づきだろうか。

後期課程は、男子が22名に対して女子が5名。4部合唱には、ソプラノ、アルトという高音パートが二つあるのだが、少ない女子でどう対応したらいいのか…。

実は今年、山田先生と江村先生にアルトに入ってもらった。「少ないからできない」ではなく、だったら先生方も歌えばいい。あきらめより、「Can Do!」を。結果、生徒と教師が共に創る本校らしい合唱になったのではないかな。

最後に、本校にはまだ切り札として、畠山明子という歌姫が控えていることも付け加えておこう。

学園祭にたくさんのメッセージをいただきました」

「誇りに思います」

学年の垣根を越えて、児童生徒みなさんと成功させてくれた学園祭だったと思います。郷土芸能発表は、時間をかけて真剣に練習に取り組んだ様子が窺われ見事でした。各学年の発表も日々の学習の内容が活かされていると感じました。そして何より、先生方の盛り上がり方が最高でした！お客さんの中からも「こんなにも生徒と先生と一緒にあって楽しんでいる学園祭は珍しいよ」というお言葉をたくさんいただきました。私自身も同感です。誇りに思います。今後も地域の方々にたくさんの感動を与えてくれることを期待しています。

「阿仁学園サイコー」

オープニングの映像から涙が出ました。どの学年も一人一人の個性が光り、生き生きと表現する姿が印象的でした。9年生の陸上部が、同級生の吹奏楽部に大声で労いの言葉をかけたシーンがとても感動的でした。9年生の劇は演技が上手で、終わったら涙が溢れていました。毎年、活性化について考えるテーマが取り上げられますが、今年確信したことがあります。「秋田には阿仁学園がある」この学校にわが子を通わせたいと移住を決められるくらい誇らしい学園が秋田にはあります。沢山のCanDo(感動)をありがとうございます。阿仁学園サイコー！

「これからの希望を感じました」

子どもたちのまっすぐな歌声やがんばり、先生方も一緒にステージを創り上げる姿に感動しました。少子高齢化は避けては通れない中、子どもたちと先生方、そして地域の方々のあたたかい姿に、これからの希望を感じました。9年生の劇は、生まれてきた意味や、自分らしく生きること、人生についてなど、改めて考えさせてくれるもので、とても楽しかったです。

「そこには…」

そこには、ただただ笑顔の自分がいました。

「最高で～す！」

今年の学園祭も、みんなの笑顔！先生方の笑顔！…笑顔がたくさん溢れていました。感(Can)動(Do)そのものでした。何にでも感じて動くことができる阿仁学園生、
「最高で～す」!!!

「阿仁の宝ですね」

郷土芸能、子どもたちの頑張っている姿が阿仁の宝ですね。各学年の発表も色々考えられていて楽しく観ることができました。9年生の発表は切ない感じでしたが、子どもたち一人一人がその役になりきっていてグッと胸を打たれました。

吹奏楽部の演奏は、上小阿仁中も参加していただき、迫力のある音がよかったです。ソロパートもよかったなあ。

今年デビューの副校長先生、ちょっと照れながら最高です。校長先生の白スーツも最高！先生方が盛り上げてくださって、Can Do！な学園祭をありがとうございました。

「これからもずっと…」

校長先生が「これで最後だとは思わず、来年も再来年もずっと観にいらしてください」と話していたはずなのに、9年生はこれで見納めと思うと、成長した我が子たちの姿に、何度目頭が熱くなったことか！

皆が主役、それぞれの個性を引き出してくれる配役で、吹奏楽部ももちろん、先生たちも学園全体が楽しんでいるので、見ているお客様にもそれが伝わって大盛況の学園祭だったと思います。

これからもずっとこの校風のまの学園でいてほしいと感じます。沢山のCanDo(感動)をありがとうございます！

「笑いあり、涙あり」

子どもたちの演技がとても上手な学園祭で、笑いあり、涙ありの演奏、発表でした。前期課程と後期課程の一体感がとても感じられてよかったです。先生たちのパフォーマンスと前期の子どもたちのダンサーも毎年の楽しみとなっています。みんなの頑張りに感謝します。

「楽しい時間をありがとう」

一人一人が一生懸命取り組んでいて、どのクラスの発表もとても面白かったし、感動しました。人数が少ないので、ここまで完成させるのは大変だったろうなと思います。楽しい時間をありがとうございました。

「心を打たれました」

子どもたちの一生懸命さに心を打たれました！

ステージ発表はもちろん、最後のお見送りまで、熱意をもって声を張り上げてくれました。笑いあり、涙あり、最高の学園祭でした。

「すばらしい学園祭」

今年も大変楽しませていただき、ありがとうございました。

いつも、どんなときでも、阿仁学園のCan Do!!を感じられて、本当に素晴らしい学園祭でした。皆さん、お疲れ様でした。

「今もなお思い出します」

学園祭、とてもよかったです。1年生～9年生の発表や劇のせりふを一字一句言えるくらい印象的でした。また、先生たちも、面白おかしく、見ている私も出演している感覚になり、本当に楽しかったです。学園祭は生徒と先生たちが、どっちがよかったか対決しているみたいでした。

9年生の劇がシリアスで惹かれました。学園祭が終わって今なお思い出します。素敵な学園祭をありがとうございます。追伸 宮崎先生泣きすぎ～。こっちまでもらい泣きしてしまいました。

「阿仁愛につつまれ」

スタジアムが“阿仁愛”につつまれ、すてきな時間を過ごすことができました。“Doの一族”に感謝です。

「成長を感じられた」

自分の子どもの成長を感じられたいい内容でした。

9年生がとにかく最高で、吹奏楽の演奏後に声をかけた場面や最後の劇では感動して泣きました。9年生のみんな、ありがとう。

「どれもこれも感動」

郷土芸能、児童生徒の発表、どれもこれも感動しました。帰りには、わらび劇場のように主役の皆さんに見送られ、校舎から出たときには、コンサートの後、ミルハスを出たときの感覚と同様に元気満タンになり、「よし、また明日から頑張れる！」と思いました。ただ一つ、校長先生と握手できなかったのが心残りです…。今後の阿仁学園の更なる活躍、楽しみにしています。

私も握手して、感動を共有したかったです。またいらしてください。(小林)



♪♪♪♪♪♪♪♪♪特典写真(クロージングの様子から)♪♪♪♪♪♪♪♪♪

